

# 学力調査結果をお知らせします

教育指導課指導係 ☎0824-73-1184

本年度実施した、全国学力・学習状況調査および広島県児童生徒学習意識等調査の結果は次のとおりでした。庄原市の児童生徒の学力や学習の状況をお伝えします。

## 全国学力・学習状況調査の結果

文部科学省が行う、全国学力・学習状況調査が4月19日に実施され、小学6年生と中学3年生が参加しました。

表1 各教科の平均正答率

〔小学6年生〕 (%)			
教科	庄原市	広島県	全国
国語	68	67	65.6
算数	64	64	63.2
理科	67	66	63.3

〔中学3年生〕 (%)			
教科	庄原市	広島県	全国
国語	73	69	69.0
数学	50	50	51.4
理科	53	49	49.3

※庄原市・広島県の平均正答率は整数値で公表

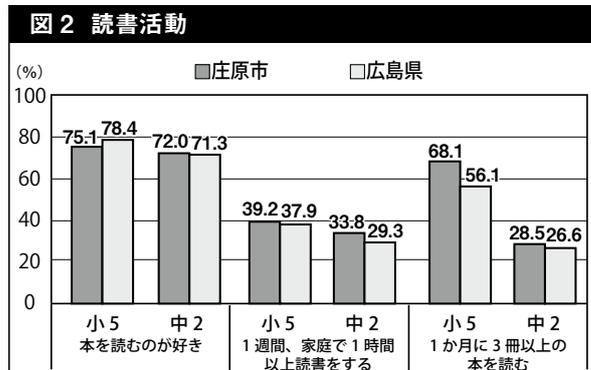
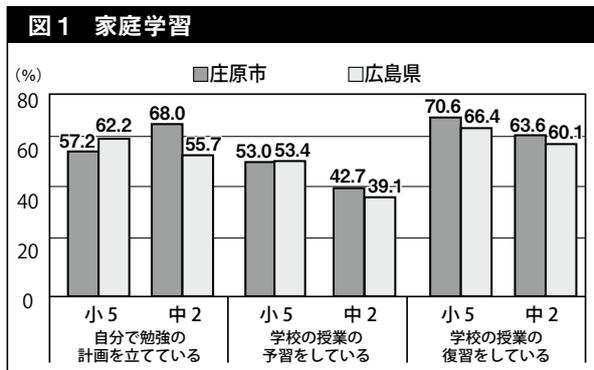
小学生は、3教科とも県・全国平均を上回っています。中学生は、国語科と理科が県・全国平均を上回っていますが、数学科は全国平均を下回っています。

これまで課題となっていた記述式の問題の正答率は、ほぼ全ての教科で県・全国平均を上回っており、授業の中で児童生徒が自分の考えを書いて表現することに取り組んでいる成果が出てきています。

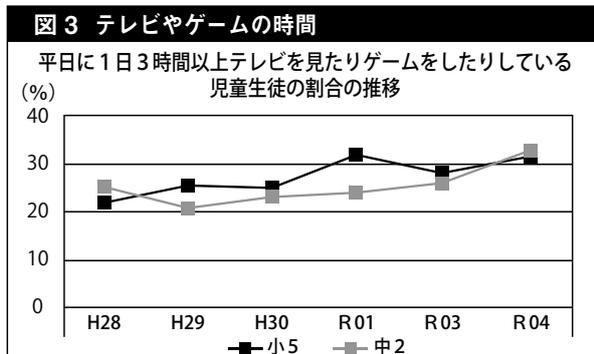
今後は、全ての児童生徒が、習得しなければならない知識・技能を確実に身に付けることができるよう、それぞれの学年で基礎・基本の徹底を図り、学習内容の確実な定着につながるよう実践します。

## 広島県児童生徒学習意識等調査の結果

広島県教育委員会が行う、児童生徒学習意識等調査が6月7日～17日に実施され、小学5年生と中学2年生が参加しました。



※図1・2の数値は、「よくあてはまる」「ややあてはまる」と肯定的に回答している割合。



※令和2年度は調査実施なし。

家庭学習(図1)について、小学5年生は、「自分で勉強の計画を立てている」「授業の予習をしている」の割合が、県平均を下回っていますが、「授業の復習をしている」の割合は県平均を上回っています。中学校2年生はどの項目においても県平均を上回っており、自分で計画を立てて学習を進めることができるようになっていきます。

読書活動(図2)は、小中学校ともに「一週間、家庭で1時間以上読書をする」「1か月に3冊以上の本を読む」の割合が県平均を上回っています。本をたくさん読んでいる児童生徒が多いことが分かります。読書好きな児童生徒が増えるよう、家庭でも一緒に読書をする時間を作ってみてください。

テレビやゲームの時間(図3)は、増加傾向にあります。児童生徒それぞれが、家庭での過ごし方について考えたり、メディアとの接し方についてルールを作ったりすることが必要です。

今後も市教育委員会では、児童生徒の望ましい生活習慣の定着と学力の向上に向け、家庭・学校・地域が連携した取り組みを進めていきます。